

0-3

看護学部の取り組みとその評価 第1報 遠隔授業

○小西 敏子、馬醫世志子、板倉朋世

獨協医科大学看護学部

2020年度前期、看護学部では遠隔授業を実施し、90分の授業時間を『30分の講義+60分の課題学修』に変更した。加えて、講義動画をオンデマンドで配信した。授業開始当初は、学生から出席登録や評価方法に関する不安やオンデマンド配信への要望等が多く聞かれたため、その都度、学生に対応するとともに学内外の教職員に協力を要請した。その結果、学生からの授業評価では、前年度とほぼ変わらず5段階中4.0以上を維持しており、「オンデマンドで繰り返し復習できてよかった」との声も聞かれた。また、「週5時間以上」自己学修している学生は前年度に比べ13.9%増加した。

0-4

看護学部の取り組みとその評価 第2報 学生支援

○板倉 朋世、馬醫世志子、小西 敏子

獨協医科大学看護学部

看護学部では、新型コロナウイルス対策として2020年度前期の授業をオンラインで行い、7月上旬まで学生の大学入構は原則禁止とした。その間、学生・教員からの意見を日々取り入れながら、学生支援に取り組んだ。特に1ヶ月半に渡り開催した学生支援交流会では、述べ1,093名が参加し、学年を超えた学生間交流や学生と教員の交流、オンラインヨガ等を通して学生の不安やストレス緩和を目指した。その結果、大学教育・学生生活への満足度は前年度より8-9%上昇したが、対面授業開始後の学生生活アンケートでは学年によって異なる傾向が見られた。継続した学生間交流、健康管理の徹底、学生意見に対する早期の対応が課題となった。